

令和2年度 学校自己評価書

学校名	和歌山市立吹上小学校
校長氏名	高岡佐知
作成日	令和3年 2月12日

1 教育目標

新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人間を育成する

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県学習到達度調査で正答数が県平均を上回る。</li> <li>・漢字博士試験合格率(児童60%)</li> <li>・毎日の勉強が分かる(児童95%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が楽しいと感じる(児童90%)</li> <li>・学校や社会のきまりを守っている(児童90%)</li> <li>・いじめ解消率(100%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の時間が楽しいと感じる(児童90%)</li> <li>・積極的に運動を行うよう計画し、場を整備した(教員90%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子がよく伝わった(保護者90%)</li> <li>・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教員90%)</li> </ul>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎・基本の確かな定着</li> <li>◎子ども主体の授業の推進</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎道徳・人権教育の充実</li> <li>◎いじめの未然防止、早期発見</li> <li>○仲間づくりの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎体力向上の推進</li> <li>◎基本的生活習慣の確立</li> <li>○危機回避能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎コミュニティスクールの取組充実</li> <li>◎幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進</li> <li>○地域の資源活用の推進</li> </ul>
具体的な取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級担任全員が算数又は人権教育の研究授業を行った。(全12回)</li> <li>○自分の考えを書く時間を大切に授業づくりを行った。</li> <li>○漢字の博士試験に2年生以上の全児童で取り組んだ。(年2回)</li> <li>○図書委員会が中心となって読んだ本を紹介し合うなど、読書活動を推進し、ボランティアによる読み語りを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめアンケートを2回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めた。</li> <li>○昨年度に引き続き、文化芸術による子供育成事業(三味線演奏)を実施したり、パイオリンとピアノ、箏と昔話の語りなど、生演奏に触れる機会をもった。</li> <li>○なかよし(縦割り班)活動による掃除や遊びを、年間を通して計画的に実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭と連携し、早ね、早起き、朝ごはんをはじめとする児童の基本的生活習慣の確立に努めた。</li> <li>○給食の時間が楽しみになるよう、食育に関する掲示を工夫し、ラッキー人参等のイベントも企画実践した。</li> <li>○地震津波、火災を想定した避難訓練を実施した。</li> <li>○なかよし活動で縦割りグループでのびのびと遊んだ。</li> <li>○学校保健安全委員会を、学校医、保護者代表の参加のもと実施し、その内容を全保護者にお知らせした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校は各種たよりを定期的に発行し、各学年は毎月、各学級は毎週、学校の様子について家庭に知らせた。また、ホームページを活用して保護者が文書を読みやすいように工夫した。</li> <li>○ゲストティーチャーによる研修など、外部の方の協力をいただいた学習の機会を多く設定した。</li> </ul>
指標の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県学習到達度調査では、4年・5年とも全教科で、正答数が県平均を上回った。</li> <li>・漢字の博士試験第2期の合格率は57%(昨年比+3%)であった。</li> <li>・毎日の勉強が分かると思っている児童は91.6%(昨年比-2.4%)であった。</li> <li>・学校は分かりやすい授業を工夫していると考える保護者は92%(昨年比-2%)であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が楽しいと感じる児童は94.9%(昨年比+0.9%)であった。</li> <li>・学校や社会のきまりを守っていると感じる児童は93.8%(昨年比+2.8%)であった。</li> <li>・学校はいじめをなくすことに取り組んでいると考える保護者は77%(昨年比-1%)であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の時間が楽しいと感じる児童は92.4%(昨年比+0.4%)であった。</li> <li>・積極的に運動を行うよう計画し、場を整備したと考える教員は95%であった。</li> <li>・学校は子供の安全確保に取り組んでいると考える保護者は93%(昨年比+5%)であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子がよく伝わったと考える保護者は93%(昨年比6%)であった。</li> <li>・図書ボランティアや校外学習の引率等で、地域の人にお手伝いいただいた。</li> <li>・幼稚園や中学校との接続に留意した取組を実践するよう努めたと考える教員は73%(昨年比-27%)であった。</li> </ul>
次年度に向けての改善方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちがより分かりやすく授業を受けられるよう、研究授業等を通して教員の授業力を高めたい。</li> <li>・教材研究等の授業準備に時間が割けるよう、他の校務の整理に一層努めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の規範意識のさらなる向上を目指し、温かみのある落ち着いた学習環境を構築していきたい。</li> <li>・何でも相談し合える雰囲気大切に、児童同士、児童と教員の人間関係を醸成していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自身が自分の体力や運動能力を数値で把握できるようにさせたい。</li> <li>・一定の運動量を確保するための場の設定を、体育の時間においては特に大切にしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者の期待と願いを実現できるよう、さらなる教育活動の充実を目指したい。</li> </ul>